

# 令和2年（2020年）7月豪雨 （第3回）非常災害対策本部会議

## 議 事 次 第

日時：令和2年7月7日（火） 17:45～

場所：官邸4階大会議室

1. 開会 【内閣官房長官】
2. 気象の概要 【気象庁長官】
3. 被害状況等報告 【内閣危機管理監】
4. 各省庁の対応状況 【各省大臣等】
5. 内閣総理大臣発言 【内閣総理大臣】
6. 閉会 【内閣官房長官】

(河川の増水や氾濫、土砂災害、低い土地の浸水に嚴重に警戒)

## 福岡県、佐賀県、長崎県の大雨特別警報は7日11時40分に警報へ切り替えた

<6日からの見通しの変化> 8日の前線の南下が当初より遅くなり、少なくとも9日頃にかけて西日本から東北地方に停滞する見込みとなった。これにより、熊本県における雨の強い時間帯が長引く予想となり、8日昼までの予想雨量が中国地方、四国地方及び九州北部地方で当初の予想より増えた。また、8日の警報級の可能性の確度が高くなった地域が、西日本・東日本で拡大した。

<概況> 梅雨前線が対馬海峡から東北地方に停滞しており、九州北部地方では局地的に雷を伴って激しい雨が降っている。福岡県や大分県では24時間の雨量が400ミリを超えた所があるなど記録的な大雨となっている。これにより九州北部では、筑後川が氾濫するなど、洪水や土砂災害の危険度の極めて高くなっている所があり、今後さらに重大な災害が発生するおそれがある。

<気象の見通し> 梅雨前線は少なくとも9日頃にかけて西日本から東北地方に停滞する見込みである。西日本から東北地方にかけての広い範囲で8日にかけて局地的に雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、大雨となるおそれがあり、さらに9日以降も大雨が続くおそれがある。8日12時までの24時間に予想される雨量(多い所)は、熊本県を含む九州北部地方、四国地方で250ミリ、東海地方、関東甲信地方で200ミリ、九州南部、近畿地方、中国地方で150ミリ、北陸地方で130ミリ、東北地方で100ミリの見込み。さらに9日12時までの48時間に予想される雨量(多い所)は、東海地方で300から450ミリ、四国地方で300から400ミリ、熊本県を含む九州北部地方、関東甲信地方で250から350ミリ、九州南部、近畿地方で200から300ミリ、北陸地方、中国地方で150から200ミリ、東北地方で100から200ミリの見込み。

<警戒事項> 河川の増水や氾濫、土砂災害、低い土地の浸水に嚴重に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。

<熊本県の見通し> 熊本県(天草・芦北地方、球磨地方)では、梅雨前線の影響で雨が降っている。明日8日にかけて雷を伴い非常に激しく降る所があり、9日12時までに予想される48時間雨量は熊本県の多い所では、250から350ミリの見込み。

### 実況と予想される雨量(多い所) 単位ミリ

■ 予想雨量が増えている地域

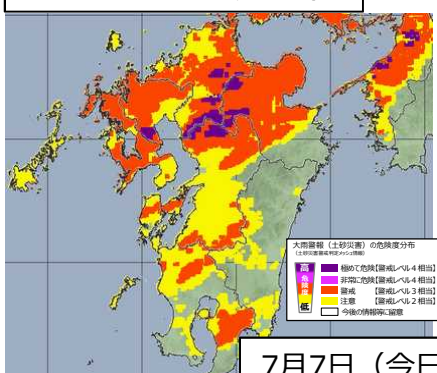
	降り始め(3日)から7日12時までの総雨量	8日12時までの24時間雨量	9日12時までの24時間雨量	9日12時までの48時間雨量
東北地方	104.0	100	50~100	100~200
関東甲信地方	673.5	200	100~200	250~350
北陸地方	203.0	130	50~100	150~200
東海地方	547.5	200	200~300	300~450
近畿地方	766.0	150	100~200	200~300
中国地方	283.5	150	およそ50	150~200
四国地方	937.5	250	100~150	300~400
九州北部地方	721.5	250	100~150	250~350
九州南部	875.5	150	100~200	200~300

### 大雨の警報級となる可能性のある期間

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

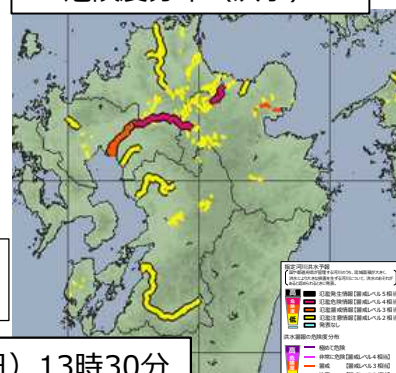
日	時	7日		8日		9日
		12~18	18~6	6~24		
東北地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
関東甲信地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
北陸地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
東海地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
近畿地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
中国地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
四国地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
九州北部地方	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		
九州南部	大雨	可能性が高い	可能性が高い	可能性がある		

危険度分布(土砂災害)

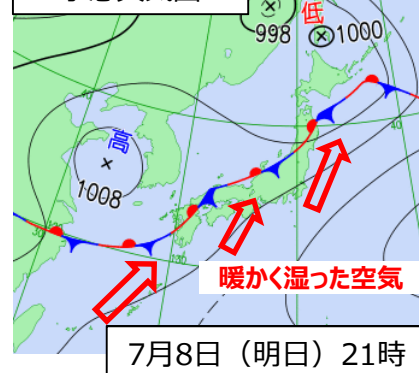


7月7日(今日) 13時30分

危険度分布(洪水)

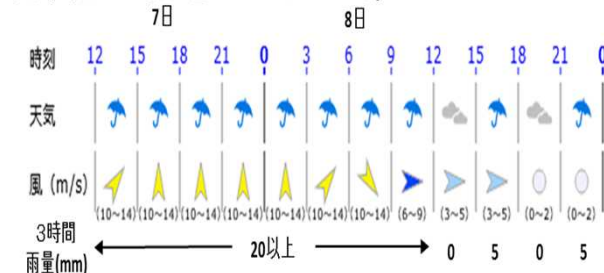


予想天気図



7月8日(明日) 21時

熊本県芦北町付近の天気(7日11時)



# 令和2年7月3日からの大雨による九州各県の災害廃棄物等の状況

## 1. 熊本県の被害状況

- 人吉市でし尿処理施設が被災し、下水処理場で処理を行う予定
- 人吉市の焼却施設は稼働中。他市町村の施設状況は確認中
- 10市町村で仮置場が開設準備済または開設済
- 環境省九州地方環境事務所より人吉市へ職員1名常駐、本省から現地災害対策本部へ管理職1名を派遣



はかりいし  
芦北町計石公民館奥佐敷港仮置場



人吉市人吉中核工業団地仮置場



## 2. 他県の被害状況

(福岡県、佐賀県、大分県では豪雨が継続中)

- 福岡県：特に県南部に被害が出ており、状況を確認中。
- 佐賀県：状況を確認中。
- 長崎県：現時点でし尿処理施設、焼却施設等の被害の報告なし。災害廃棄物について詳細を確認中。
- 大分県：特に日田市、玖珠町の被害が大きい見込み。状況を確認中。
- 宮崎県：熊本県、鹿児島県近隣自治体で浸水被害があり、施設の状況や災害廃棄物について詳細を確認中。
- 鹿児島県：浸水被害があり、施設の状況や災害廃棄物について詳細を確認中。

## 3 支援の体制

- 環境省九州地方環境事務所による熊本県の現地調査(7月5日～)、職員1名が熊本県人吉市に常駐(7月6日～)
- 環境省本省から管理職1名を熊本県庁の現地災害対策本部へ派遣(7月6日～)
- 災害廃棄物処理支援ネットワーク(D.Waste-Net)へ被災市町村への支援派遣について依頼し、被災市町村へ6名を派遣(7月7日～)
- 防衛省とも情報を共有し、自衛隊と連携して対応中
- 国交省とも情報を共有し、土砂まじりがれきの処理の連携の事務連絡について再周知を実施
- 今後も各県に連続的に応援職員、D.Waste-Net専門家を派遣準備中